

出会いからモミの木ファミン
家族みんなの思いが詰まった
100点満点の家が出来ました



冬はコタツで寛げるようにモミの木の一部に畳をはめ込んだリビング。後ろの3枚の引き戸を開けると両親の部屋と連動して使える。遊びに来た長女夫婦と2人のお子さんも一緒に四世代がモミの木製のダイニングテーブルを囲んで、和気あいあいと笑い合う

両親が手をかけて大切に使用してきた家が古くなり、やがて長男の代になることを考え、建て替えを決めたGさん一家。何件ものモデルハウスを見ましたが、アヴィエスホームのモミの木の香りや床の感触などは他にはない特別なものでした。そして「モミカフェ」などのイベントに参加して、モミの木の良さを学び依頼を決めました。

何度も打ち合わせを重ね、外観や間取り、素材、デザイン、設備などを一つひとつ丁寧に選択。高齢の両親が安全に暮らせるように、将来暮らしが変化しても対応できる間取りに、家を建てた先輩である長女のアドバイザーも参考に、使い勝手や動線も吟味しました。「こだわりが沢山あり何度も迷い変更しましたが、おかげで納得のいくいい家が出来ました」と目を細める奥さま。外観デザインを決める要になった「長男も100点満点の家です」と満足そう。

モミの木とスポンオフ壁を贅沢に使った新居。各室に加湿器を置いたのはモミの木が水分を必要とするため、植物に水やりをするように大切にお手入れしている様子。「モミの木の床は寒い朝も床に前日の暖房のぬくもりが残っていますし、踏み心地、歩き心地が最高。春先にはつらい花粉症もやわらびそうで楽しみですよ」とすっかりモミの木ファミンになったGさんが熱く語ってくれました。

次世代の住まい
CASE 64
宮城県加美郡色麻町
Gさんの家
取材日/2020年12月



プロヴァンス風の可愛いデザインの外観と玄関ポーチ。玄関にはガラスをはめ込んだ親子ドアを採用、開錠は先進のポケットキー対応

担当より一言

営業 門馬

昨日までの雨が嘘のように日差しが肩に食い込る暑さの七月十五日。私が「家族」として初めてお会いしたのはそんな日でございました。何件も展示場を見て回って来たことの中で、「まず休憩しながら冷たいティーでもいかがですか？」と声を掛けさせて頂いたのを覚えております。お引渡の際、「主人様が他のハウスメーカーではすぐ展示場を案内されていたのに、門馬君はまず座って話を聞いてきた。この営業マンは他と違うなと思った。」とおっしゃっていました。それは誉め言葉……ですよね……？（笑）打合せに打合せを重ね、時には時間を忘れ、すっかり日が暮れていた事もございましたが、家が完成した時の奥様の笑顔で、百点の家が作れたんだなと嬉しくなりました。健康住宅で暮らす時間を心待ちにしていたGさん「家族！これからますます宜しくお願い致します！」

両親の安全を考えたバリアフリー設計は小さい子どもにも安心。玄関からダイニングへ、キッチンから勝手口へ抜ける動線も便利。

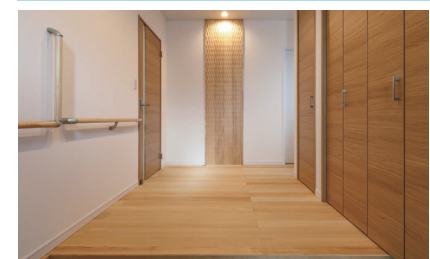


リビングから見えない位置に設けたダイニングはキッチンの延長上にテーブルを並べて配膳や後片付けがスムーズに。キッチンの奥は勝手口とパントリー

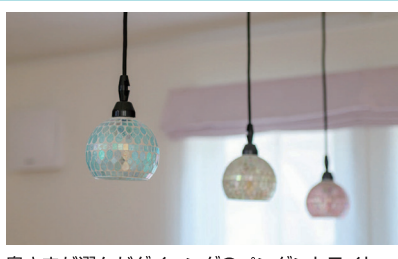


長男の寝室は8畳以上、日課の筋トレをするにも十分な広さを確保した。天井を照らす間接照明、白い内装にネイビーのカーテンなどシックにコーディネート

家族みんなの使いやすさとデザイン性が両立する家



間接照明がやさしいモミの木のデザインウォールを正面に設置したGさん宅を象徴するような玄関



奥さまが選んだダイニングのペンダントライト



ご高齢の両親が安全に歩けるようにと玄関から廊下、居室、水廻りなど各所に手すりを設けた



キッチンと向き合うダイニングカウンター。吊り戸棚は背面に、女性の手が届く使いやすい高さに設置、その上に横長窓を設け採光を確保



外仕事を終えたご主人が勝手口から入り手を洗い脱衣所へ。洗面台は主に両親が使っている



CASE64:宮城県加美郡色麻町 Gさんのお宅
家族構成:両親、夫婦、長男
延床面積:約53坪 5LDK+小屋裏収納
こだわり設備:モミの木の床、スポンオフ



長男とご主人が決めた外観は白が基調の外壁にテラコッタ色の屋根、カルセラタイルと妻飾りをアクセントにした

家事ラクと収納もこだわりました



バルコニーにつながる大きな窓から光が入る2階ホールを物干し場に。デザイン性の高いブラインドを採用



シューズクロークの中の上下に窓を設けて明るさを確保。外から帰ってきて上着を掛ける収納スペースも設置



2階から階段で上がる小屋裏収納は、お茶を飲んでひと休みしたりお孫さんの遊び場など様々な用途に使える